
日曜劇場(と言いつつ違う)

戯言遣いの弟子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

日曜劇場（と言いつつ違う）

【Nコード】

N0086L

【作者名】

戲言遣いの弟子

【あらすじ】

注意

敬語無し、最低、最悪、絞まり無し。

こんな感じ

「あいあい」

「どーもどーも」

何やつとんのよ？

「何か。」

何やそれ？

オカシイやろ。

…つーわけで始めました日曜劇場！

えとこれは俺が素でやる変なヤツです。

断つとくが、敬語無し（大体）、テキトーな感じだ。

「敬語無しはヤバくね？」

「いーんだ」

おう。

…後八十字も書くのか。

「頑張れ」

「いけー」

まあ努力するよ。

つと、この二人は友達のMとSだ。

「さすがに本名はな」

「んー」

じゃ、自己紹介。

「はいさ」

「はいさー」

「俺はM。因みにSだ。…書くことあるか？」

じゃ、S

「えつとおB」

お前じゃねえ。

「だつていねえ」

はあ？

…あ！

どこいった！？

探すぞ！！

「…チツ」

今舌打ちしたな！？

「何が？」

てM

「おら。」

あ、いつ…！

ヘッドロックは痛T

「ていつ」

「おまE」

クロ口ホ…。

「きし」

キュキュッ

「起きれ」

ガス

「ごぶ」

んげぱつ。

「ふはっ！」

「…ん？」

…『肉』？

「お前が持つてるそれ渡せや。」
しばいたる。

「へ？あ、？あああああああああ………」

自主規制

「えぐっひぐっ」

「ふう」

じゃ、また次回って事で。「また！」
「えうう…」

こんな感じ（後書き）

反省会部屋

「悪かったって」

「許さない」

「ごめんってば」

「許さない」

「…」

「消え失せろ」

「だから」

氏ね。

「お前じゃねえ。奥義！『連蹴襲霸王』！！」
ごふう。

「また詰まらぬ者を蹴ってしまった…」
貴様あ…。

許すまじい…。

「…僕は？」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0086/>

日曜劇場(と言いつつ違う)

2010年10月10日19時58分発行